

社協だより 萩

2024
12 / 1
Vol.103



赤い羽根共同募金の配分により、発行しています。

毎年12月3日から9日までの1週間は「障害者週間」です



地域の中で生きていく 地域を支える力となる

社会福祉法人E.G.Fでは、不要な野菜くずや雑草などを発酵させた腐葉土を使用して、安心安全な農作物を作っています。土作りから収穫までのすべての工程に利用者が関わり、一人ひとりがなくてはならない存在です。

障がいの有無にかかわらず、誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現が求められています。



テツコちゃんも
害獣駆除に役買っています

障がい者の福祉について考えてみませんか？

障害者週間（12月3日から12月9日）は、広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、「障害者基本法」に定められています。

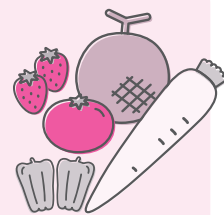
萩市内には障がい者の**日中活動サービス事業所が21**あります。障がい者支援施設などで、常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な**日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供**のほか、**身体機能や生活能力の向上**のために**必要な援助**を行います。



日中活動サービス事業所のなかには、農業分野と連携をして、サービスを提供している事業所もあります。

農福連携は、多岐にわたる工程のある農作業の中で、様々な障がいのある人が個々の特性に応じた仕事をするすることで農業と福祉の課題解決する手段として期待されています。

今回は市内の2事業所をご紹介します。



社会福祉法人E.G.F

ホームページ



社会福祉法人E.G.Fは、就労継続支援B型、生活介護、共同生活援助の事業所です。農業の6次産業化と農福連携に取り組んでいます。

小川や阿武町、益田市の自然の中で、障がいのある人がそれぞれの特性を活かしながら、地域の農業を支え、**地域の活性化に寄与する存在になることを目指しています。**

6次産業化とは

1次産業（生産）

×

2次産業（加工）

×

3次産業（販売）

を一体化した産業として、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組み



株式会社あわや

ホームページ



あわやは就労継続支援A型の事業所です。働くことに障がいのある方がサポートを受けながら仕事や日中活動が出来ます。

むつみ地域・千石台の若手農家の方々とチームを組み、ケールの収穫から管理・販売・発送を行っています。

働くことは、生活習慣を安定させるとともに、社会と付き合うために大切なことであり、人間関係の円滑化に努めています。**障がいのある方の社会的な繋がりを大事にしています。**



農福連携は、一人ひとりの暮らしと生きがいや地域と共に創っていく社会をめざす「地域共生社会」に向けた取り組みのひとつです。

善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

氏名	住所	備考	金額
萩			
来原 鈴子	山田	夫／義和	金一封
平田樹己夫	平安古	父／學	金一封
阿部 一道	土原3区	父／弘海	金一封
山根 正嗣	吉田町	母／壽代	金一封
幸徳 一成	見島7区	父／正己	金一封
吉賀 博史	金谷の2	義母／中屋ヨシ子	金一封
藤原 節子	椎原	夫／文一	金一封
谷村奈保美	河添の1	夫／太知	金一封
西村 史恵	土原	母／江原初恵	金一封
谷野 敏弘	相島上		金一封
村田 望	見島9区	母／良子	金一封
児玉 晃一	土原3区	母／和子	金一封
廣中 敏枝	後小畑の1	夫／保	金一封
神田 幸男	三見飯井	父／勉	金一封
今田 英樹	長山	父／章	金一封
藤田 恭士	江向1区	母／尹佐子	金一封

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※令和6年9月1日～令和6年10月31日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
川上			
竹下 雄二	笹尾	妹／みつえ	金一封
田万川			
日原 敬	小川20区	妻／喜美枝	金一封
嶋 哲子	小川6区	夫／徳康	金一封
小原沙登美	要二	夫／武	金一封
天野 猛	小川12区		金一封
むつみ			
山根 章子	山口市阿東地福下	弟／末成敏正	金一封
須佐			
久村 尚博	弥富5区	母／美枝	金一封
田嶋 芳明	弥富11区	父／作市	金一封
恵本 駿也	高山	父／学	金一封
福栄			
岩武 哲雄	紫福平原	兄／憲治	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
森田タキ子	呉服町	社会福祉へ	10,000円
匿名		社会福祉へ	21,282円
(株)ヤクルト山陽 萩センター		社会福祉へ	18,900円
ささえあいみずぐるま	江向4区	社会福祉へ	2,974円
川上			
匿名		社会福祉へ	3,299円
田万川			
多磨中学校同窓会(昭和32年卒業生)		社会福祉へ	金一封
田万川地域ゴルフ大会実行委員会		社会福祉へ	8,259円



(株)ヤクルト山陽 萩センター様より、8月中旬に販売された「Yakult1000」と「ヤクルト400」類の売り上げの一部をご寄付いただきました。

物品寄付

米などの寄付をいただきました。

善意銀行は地域福祉活動推進の貴重な財源になっています。
どうかご協力ください。

(香典返し・一般寄付合計 36件 1,496,214円)

お知らせ

1日も早い復興のために

輪島市社会福祉協議会への寄付を本会役職員に募り、17万円が集まりました。現地にて小林会長より輪島市社協田中事務局長へお渡ししました。



「赤い羽根クリスマス食堂」を開催します!

限定開催! 赤い羽根クリスマス食堂をオープンします。売上げの全額が共同募金の寄付金となります。どなたでも食べていただけますので、たくさんの方のお越しをお待ちしております!

日時 令和6年12月25日(水) 11時～13時
場所 萩市総合福祉センター2階交流カフェ
メニュー ハヤシライス、コンソメスープ
金額 1食500円
食数 150食 *なくなり次第終了



交流カフェ行事

BEAUTYスキンケア&メイク講座

講座を受けてお悩み解決! スキンケアとメイクレッスンをし、こころとお肌を潤わせて帰りませんか? お気軽にご参加ください。

日時 令和7年1月24日(金) 10時～12時
場所 萩市総合福祉センター2階交流カフェ
講師 ノエビア広島営業部 東郷桜子さん
参加費 無料
定員 10名程度 *先着順(1/17締切)
その他 当日はノーメイクでお越しください。
申込み 萩市ボランティアセンターへ
電話 (0838-22-2289)
または二次元コードから



No	就業場所	職種・勤務時間	募集人員	①応募締切(必着) ②試験日 ③試験内容	①採用予定日 ②雇用期間
1	萩市社会福祉協議会 (萩市総合福祉センター内)	事務職員(正職員) 8:30~17:30	1名	①令和6年12月13日(金) ②令和6年12月22日(日) ③筆記試験及び面接	①令和7年1月1日
2	萩市社会福祉協議会 (萩市総合福祉センター内)	事務職員(産休代替) 8:30~17:30	1名 (常勤)	①令和6年12月6日(金) ②応募者と相談 ③書類選考後面接	①年内 ②採用日~令和8年 2月28日
			1名 (常勤)	①令和7年1月17日(金) ②応募者と相談 ③書類選考後面接	①令和7年2月1日 ②令和7年2月1日 ~令和8年4月30日
3	むつみ事務所及び 福栄事務所	事務職員(臨時職員) 8:30~17:30	1名 (常勤)	①令和7年1月31日(金) ②応募者と相談 ③書類選考後面接	①令和7年4月1日 ②令和7年4月1日 ~令和8年3月31日
4	萩市社会福祉協議会 (萩市総合福祉センター内)	生活支援コーディネーター 8:30~16:30 業務内容により時間変更あり	1名 (非常勤) 月12日		

受験資格 普通自動車運転免許(A・T限定可)を有する方

申込方法 市販の履歴書(写真添付)を下記まで郵送または持参してください。

問合せ・書類送付先 詳しくは二次元コードよりご確認ください。下記までお問い合わせください。

〒758-0041 萩市江向510番地 萩市社会福祉協議会総務課 電話0838-22-2289



地域にフォーカス

地域の取り組みや活動を紹介していきます。

見島

わくわく子育て応援米 ～島は大きな家族～

見島地区社会福祉協議会会長 弘中保貴

米不足や物価高騰の影響が長期化している中、その影響を強く受けている子育て世帯の家計と健康を応援するため、島内の2才から15才(見島保育園、見島小中学校)までの14名の子どもたちに、1人あたりに対し見島で収穫したコシヒカリ10kgを「わくわく子育て応援米」として、見島地区社会福祉協議会から贈呈しました。

子どもたちに収穫ホヤホヤの見島産新米をたくさん食べていただき、島内ですくすくと元気に育ち、安心して子育てができることを見島地区社協として応援します。

島の子どもたちは、私たち島民にいつも笑顔と元気を届けてくれます。島を支える家族や子どもたちに本当に感謝しています。島民みんなで、その子どもたちを大切に育てていきたい。島は大きな家族です。



萩

仲間と楽しく活動しています 音訳サークル「ゆう」 津室ひとみ

私たち、音訳サークル「ゆう」は、視覚障がい者や字を読むことが困難な方のために、広報誌や書籍、取扱説明書などを音声で録音しCDで情報提供をしています。

正しく分かりやすく情報を伝えるために

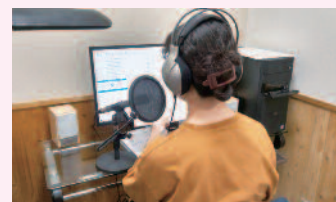
- 正しいアクセント
- はっきりした発音
- 漢字の読み
- 写真や図、表の伝え方
- 意味の伝わる読み

などの勉強会を開いては互いに音訳技術の向上に努めています。

会員は約20名で、教え合ったり、おしゃべりもしたりと、楽しく活動しています。

音訳を知ってもらうための体験講座や、本格的に音訳を勉強して活動したい方のための養成講座も毎年6月から始めています。

ぜひ仲間になって一緒に活動しましょう。



★今年度、(公財)車両競技公益資金記念財団からボランティア活動に対する助成金をいただき、録音ソフトの充実を図ることができました。これからも、力を合わせて取り組みたいと思います。